

承認番号 RD 6109-001

文書番号 13106472

平成 25 年 10 月 15 日

屋内造作用ウレタン樹脂系接着剤

ネオスト U-CT 試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

1. 目的

JAIA☆☆☆☆屋内造作用系接着剤「ネオスト U-CT」の接着性能評価試験を行なった。

2. 試験項目

2-1. 引張接着強さ試験

2-2. 押し倒し試験

3. 供試試験材料

3-1. 引張接着強さ試験

被着材：緩衝材(カルプ)付きフローリング材 (40×40mm)

緩衝材なしフローリング材(40×40mm)

下地材：フレキシブルボード

3-2. 押し倒し試験

被着材：鋼製束(100×90×2mm)

下地材：歩道用コンクリート平板

4. 試験方法

4-1. 引張接着強さ試験

(1) 試験体の作製

標準状態下 (23±2°C、50±10%RH) において、下地材に所定のクシ目コテ (巾×高さ×ピッチ：4×3.5×14mm、Vノッチ) を用いて接着剤を塗布し、直ちに被着材料を張り付け1kgの錘を5秒間載せて圧着し、引張接着強さ試験の試験体とした。

(2) 養生条件

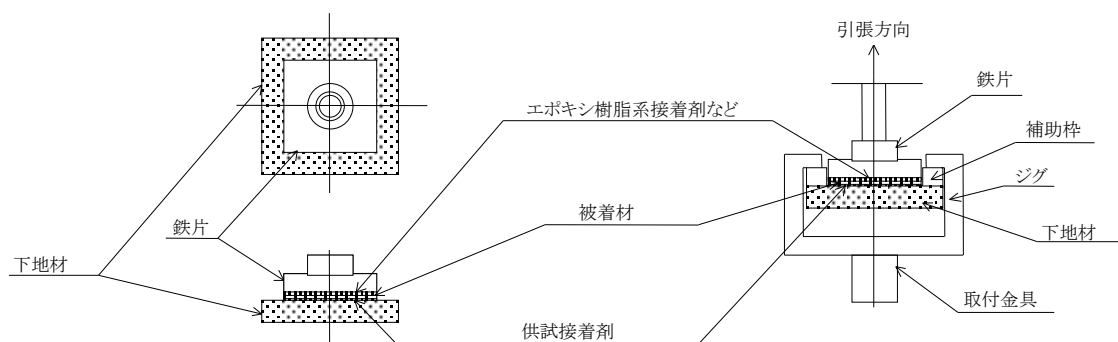
常態：(23±2°C、50±10%RH)にて、168時間養生

水中浸せき：常態養生後、23±2°Cの水中に168時間養生

耐熱：常態養生後、80°Cにて168時間養生

(3) 測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 3mm/min にて測定した。



4-2. 押し倒し試験

(1) 試験体の作製

歩道用コンクリート平板の表面を#60 のサンドペーパーでサンディング処理し、表面の埃を取り除いた後、標準状態（23±2℃、50±10%RH）で乾燥する。表面含水率が 8%以下になっているのを確認し被着材を張り付ける。標準状態で規定養生後、押し倒し試験に供した。

(2) 養生条件

常態：（23±2℃、50±10%）にて、168 時間養生

(3) 測定条件

押し倒し位置：下地表面より 200mm 高さ

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 3mm/min にて測定した。



5. 試験結果

5-1. 引張接着強さ試験

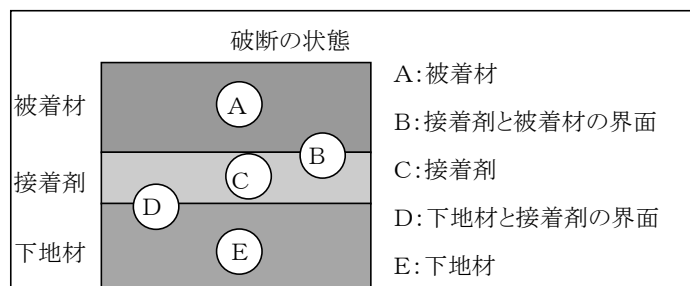
		常態		耐熱	
		N/mm ²	破壊状態	N/mm ²	破壊状態
緩衝材なし フローリング	1	1.66	A60G40	1.71	F10A10G80
	2	1.64	A40G60	1.85	A30G70
	3	1.55	A50G50	1.52	F10A10G80
	Ave.	1.62		1.69	
規格値		1.0以上		1.0以上	

		常態		水中浸せき		耐熱	
		N/mm ²	破壊状態	N/mm ²	破壊状態	N/mm ²	破壊状態
緩衝材付き フローリング	1	0.52	A100	0.40	A100	0.73	F20A70
	2	0.36	A100	0.34	A100	0.59	A100
	3	0.43	A100	0.31	A100	0.69	A100
	Ave.	0.44		0.35		0.67	
規格値		0.3以上		0.3以上		0.3以上	

JIS A 5536 に準ずる。

5-2. 押し倒し試験

		最大点応力 N/本	破壊状態 %
プラ束	1	305.8	C100
	2	300.3	B10C90
	Ave.	303.0	
鋼製束	1	281.4	B20C80
	2	332.3	B30C70
	Ave.	306.8	



6. 考察

試験の結果、「屋内造作用系接着剤 ネオスト U-CT」は上記の性能を有することを確認した。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。

作成：平成 19 年 10 月 16 日 (文書番号：07106581)

改定：平成 25 年 10 月 15 日 (文書番号：13106472)